

「広がれ、助け合いの輪！みやざき交流集会」2022 i n みまた

開 催 要 綱

1 趣 旨

制度や分野に縛られることなく、興味や関心があることで気軽につながることでできるネットワーク作りを目指した「広がれ、助け合いの輪！みやざき交流集会」も今回で4回目の開催となりました。

今年度はこれまで、Branch Meetingにおいて「孤立・孤独と向き合う」を共通テーマに掲げ、「ひとりぼっち」をつくらないためにできることを、3回シリーズで考えてきました。

1回目の「**みつける**」では、助けて欲しいと訴えることのできない人の「声なき声」に気付きどのようにアプローチし向き合っていけるかを考えました。2回目の「**つながる**」では、気付き、みつけた課題を解決するため、福祉専門職だけでなく、地域と接する点を横に広げ、つながりの間口を広げていくことを考えました。3回目の「**ささえる**」では、広がった点を線にそして面に、継続的に関わり支援していくための居場所づくり、拠点づくりについて考えました。

そして、今回の交流集会では、様々な地域課題の解決に向けて、次々と新たな地域活動を立ち上げている「三股町」を舞台に、実際にどのように課題をみつけ、その解決に向けて人や地域とのつながりを広げ、ささえていく仕組みを作っているのか、その拠点を巡り活動についてのお話を聞きながら、考えていきたいと思います。

—「目指すのは、ひとりぼっちにしないまち」—。「孤立・孤独と向き合う」ために、今、実践されていることを、一緒に体感してみませんか。

もちろん、Branch Meetingに参加されていない方の御参加も大歓迎です。

2 主 催

社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会
Community Design Lab.

3 日 時

令和4年12月13日（火） 午後1時から4時30分まで

4 会 場

三股町 ビオトープ 他

5 参加対象

社会福祉協議会、社会福祉法人、NPO法人、ボランティア団体、企業等、地域の困りごとを解決したいと実践している方や活動に参加・協力したいと考えている方

6 定 員

60名

7 参加費

無 料（1ドリンク付き）

8 アドバイザー

九州大学大学院 人間環境学研究院 教授 高野 和良（たかの かずよし）氏
 熊本県生まれ。九州大学大学院文学研究科修士課程修了

社会保障研究所（現 国立社会保障・人口問題研究所）研究部研究員、山口県立大学社会福祉学部教授を経て現職。「広かれ、助け合いの輪！みやざき交流集会」には初回より携わっていただいている。

9 Branch Meeting コメンテーター

特定非営利活動法人 ふくおかNPOセンター 代表 古賀 桃子（こが ももこ）氏
 福岡市出身。九州大学大学院法学研究科（公法学修士）修了。

「草の根から、社会を描く。」を合言葉に、企業・行政・公民館・社協等の橋渡しや伴走支援を通じた、地域づくり・社会づくりの黒子に注力。近年は防災や災害時の広報支援にも取り組む。

10 プログラム

時 間	内 容
12:30 ~ 13:00	受付
13:00 ~ 13:05	オリエンテーション
13:05 ~ 13:10	あいさつ 社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会
13:10 ~ 13:25	「孤立・孤独と向き合う」～Branch Meeting を振り返って 「みつける。」「つながる。」「ささえる。」と、3回シリーズで考えてきた「孤立・孤独と向き合う」ということ。Branch Meeting の振り返りとともに、支援者として大切にすべきポイントは何か、改めてまとめていただきます。 特定非営利活動法人 ふくおかNPOセンター 代表 古賀 桃子 氏
13:25 ~ 15:15 (110分)	社会科見学 - 「ひとりぼっちにしないまち」づくりを探索 - 三股町社会福祉協議会では、地域住民や地域の多様な主体が参画し、住民一人ひとりの暮らしと生きがいを地域と共に創る「地域共生社会」の実現を目指して、「実践支援研究室」=Community Design Lab.を立ち上げ、2025年までに200の活動、2025人の地域活動者を生み出そうとしています。 根底に「ひとりぼっちにしないまち」づくりが流れているそれぞれの活動内容について、情報収集をしながらグループに分かれてまちを巡ります。 1 森の子学習塾 「笑う・学ぶ・食べる」をセットに「学習と向きあうこと」を大切に育てる場所。 2 みまたん宅食どうぞ便 外からは見えない「つらさ」に、食材を届けながら気づく機会を。 3 コワーキングスペース 人と人をつなぎ、多様な立場や世代の人々が集える場所。 4 樺山購買部 「買い物・地域の居場所・寄付文化の醸成」の機能を持つ「地域密着型商店」。 5 りんりん食堂 家庭での供食が難しい子ども達や多様な世代が集う「こども食堂」。 6 キママプロダクト 今ある雇用の仕組みに馴染めない人たちが気ままに働ける場所。 7 タテヨコナメ つらい思いをしている子ども達がたくさんの人と関われるきっかけを。 8 (おまけ) ジャンカン馬・栗姫号 町のアイドルを撮影できるチャンス！
15:15 ~ 15:25	休憩

<p>15:25 ~ 16:25 (60分)</p>	<p>パネルディスカッション 社会科見学を振り返りながら、それぞれの活動内容で印象に残っていること、どんな「孤立・孤独と向き合い」ながら、課題解決につなげているのか等、パネラーと共に深掘していきます。</p> <p>【パネラー】 ・九州大学大学院 人間環境学研究院 教授 高野 和良 氏 ・特定非営利活動法人 ふくおかNPOセンター 代表 古賀 桃子 氏 ・三股町社会福祉協議会 (Community Design Lab.) 松崎 亮 氏</p> <p>【進 行】 宮崎県社会福祉協議会 大山 晃代</p>
<p>16:25 ~ 16:30</p>	<p>記念撮影</p>
<p>16:30</p>	<p>閉 会</p>

11 参加申込み

- (1) 申込みフォームまたは別紙「参加申込書」にて、令和4年12月7日(水)までにお申し込みください。(申込フォーム：<https://www.mkensha.or.jp/circle/>)
 ※参加申込時に記載された情報により、参加者一覧を作成し参加者に配布します。記載された個人情報交流集会に関するものにのみ使用します。
- (2) お申込み受付後、今年度の Branch Meeting「みつける。」「つながる。」「ささえる。」の動画配信 URL をお知らせしますので、交流集会当日までに御覧ください。
- (3) 当日の様子については、後日報告としてまとめ皆さんにも共有する予定です。

12 留意事項

参加者の皆様には、以下の御協力をお願いしております。あらかじめ御留意ください。

- ・発熱等の風邪症状がみられる場合は参加を見合わせてください(状況によっては参加をお断りすることがあります)。
- ・参加にあたっては、マスクの着用・手指の消毒・咳エチケットの励行など感染症予防対策に御協力ください。
- ・会場では、休憩時間等に窓等を開放し、換気を行います。
- ・参加者数を限定して可能な限り受講者の離間距離を確保しています。休憩時間についても一定の距離を保つようお願いいたします。
- ・万一、参加者の感染が確認された場合で、保健当局において、他の受講者が濃厚接触者に該当すると判断された場合、参加者の連絡先等の情報提供が要請される場合があります。公益性の観点から、このような要請があった場合は、保健当局等に対して情報提供をさせていただくことがありますので、あらかじめ御了承ください。
- ・感染状況の推移及び借用会場の都合等により、急遽開催を延期または中止させていただくことがありますので御理解・御協力をお願いします。

13 参加申込書提出先及び問合せ先

社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会 地域福祉部

地域・ボランティア課(宮崎県ボランティアセンター) 担当:秋本・奥野・大山

〒880-8515 宮崎市原町2-22 宮崎県福祉総合センター本館3階

TEL:0985-25-0539 FAX:0985-31-6575 E-mail:vc@mkensha.or.jp



交流集会に参加して下さった方々が綿毛となり、やさしさや思いやりの詰まった種を、県内至る所に運んでいくことをイメージしています。

みなさん一人ひとりがつながることで、「たすけあいの輪」が広がっていく様子を、「たんぼぼ」に見立ててデザインしたロゴマークです。

*Logo Design
by Hanukatt*